



# ぼろたん

「大事に作って、大事に売って」

栗の産地をもっと元気に



平成19年度に登場した新品種「ぼろたん」

岐阜の自然に育まれる農産物と生産農家をシリーズで紹介する第2回目。今回は中津川市で生産される栗にスポットを当てます。古くから良質な栗の産地として知られ、栗きんとん発祥の地ともいわれる中津川市。現在、約190軒の農家が年間約130トンの栗を生産しています。東美濃栗振興協議会の会長を務める榎間信明さん(75)は、25年間この地で栗を作り続け、大粒で高品質な超特選栗のほか、新種の栽培と普及にも取り組んでいます。



中津川市駒場  
さかきま  
榎間信明さん

## 新しい栗を 中津川の名産に

平成19年度に登場した新品種「ぼろたん」。渋皮がぼろっとむける画期的なこの栗が中津川市の新たな名産になれ、榎間さんは平成21年に栽培を開始しました。しかし、「ぼろたん」は通常の栗に比べて不良が見分けにくく、さら



ぼろたんを栽培する榎間さんの栗農園

に他品種との区別がしづらいため収穫時に混入が起こりやすいという難点がありました。そこで、「ぼろたん」の生産農家が一丸となって検品に力を入れたり、植栽位置を工夫したりと対策を講じました。その甲斐あって、植樹数は1280本を超え、収穫量も年々増加しています。平成23年からは県内のイベントなどで販売を開始。毎年10月に行われる岐阜県農業フェス



ぼろたんの収穫時期は9月中旬～下旬

8月下旬、栗の収穫が始まると生産者が集荷場に栗を持ち寄ります。「毎日顔を合わせて、会話をしながら作業するのが楽しいんです。個人経営が多い栗農家では、収穫から納品まで使用する何千個ものコンテナを大きくしてくれてい

## JAバンクの サポートのもと 仲間と強い絆で 結ばれています

ティバルで「ぼろたん」の焼き栗を販売すると、長蛇の列ができるほど大盛況となりました。東京の有名レストランや高級青果店などでも取り扱いが始まり、その魅力は全国に広まっています。皮が簡単にむけるので、ご家庭での調理にも適しています。多くの方に面白いね、と気軽に手に取ってもらえたら嬉しいですね。



榎間さんとJAひがしみの営農担当者の吉村さん

抽選で5名様にプレゼント

本広告に関するご意見・ご感想をお聞かせください

10/21(金) 必着

ひがしみのカレー 220g(3個)&かしもトマトジュース720ml(1本)プレゼント!

ひがしみのカレーは、きれいな空気と冷たい水で栽培されたJAひがしみの管内(中津川市・恵那市産)の「麗夏トマト」をベースに、農家の愛情たっぷりに育てられた、地元を中心とした岐阜県産「飛騨牛」を使用しています。加子母のトマトジュースは、加子母のミネラルトマトを搾り、塩を加えただけのとってもシンプルな飲み物。だからこそ、トマトの味がよくわかります。JAひがしみので採れた味覚をぜひご賞味ください。

①郵便番号・住所 ②氏名 ③電話番号 ④紙面に関するご意見を明記して下記の方法でお申し込みください。  
【はがき】〒500-8577(住所不要) 岐阜新聞 広告局「ぎふの農業人」係  
※個人情報保護法に基づき、当選者の発表は、賞品の発送(翌月予定)をもってかえさせていただきます。

JAひがしみの管内は、古くから栗の産地として有名ですが、農家の高齢化と後継者不足から、地元のお菓子屋さんからの要望に出荷量が追いついていないのが現状です。その問題を解決するために、栗新規栽培希望者の発掘、栽培面積増加による地域の活性化に取り組んでいます。

このような取り組みを通じて、JAひがしみの農業と暮らしに貢献するとともに、農業、生活メインバンク機能の強化、各種相談機能(相続、年金、法律、税金)の強化を図り、地域密着型金融機関として、組合員・利用者の皆さまの様々なニーズに応えてまいります。

JAひがしみの組合長  
足立能夫氏から



## 耕そう、大地と地域のみらい。

秋の足音が近づくと、  
山のあちこちで栗が微笑む。

愛情いっぱいの栗で笑顔届けたい。  
生産者の想いに寄り添い、共に歩むJA



JAぎふ / JAにしみの / JAいび川 / JAめぐみの / JAとうと / JAひがしみの / JAひだ  
—— 岐阜県下JAは農業のメインバンクです ——